

兵 庫 県
保 險 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 248

2018年1月25日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話 〇七八(三九三)一八〇一

新年のごあいさつ

医療・社会保障の拡充で豊なくらしを

加古川・高砂支部

支部長 岡部 桂一郎



新年あけましておめでとうござ
います。年頭にあたりみなさまの
ご健康とご多幸をお祈りします。
旧年中は加古川・高砂支部の諸活
動にご理解、ご協力賜わり厚く御
礼を申し上げます。お陰さまをも
ちまして当支部は、昨年12月に35
周年となる支部総会を無事に開催
することが出来ました。支部活動
にご尽力いただいている諸先生方
にも厚く御礼申し上げます。

社会保障に関する情勢につきま
して、今年は診療報酬の改定が
あります。改定率は、本体プラス
0・55%、薬価・材料価格はマイ
ナス1・74%で全体マイナス1・
19%改定となる見通しです。本体
部分のプラス改定は、医療機関の
厳しい経営状況を考えると当然の
ことですが、まだまだ不十分なも
のです。診療報酬は、医療機関に

とっては保険で提供する医療の、
国民・患者にとっては保険で受け
る医療の「質と量を規定する」も
のであり、医療関係者の賃金に直
結するだけでなく、国民が保険で
適切な医療を受けるための基盤で
す。新たな医療技術や医薬品を保
険収載するためにも、地域で医療
機関が安定的に公益医療を提供す
るためにも、診療報酬の適切な引
き上げは不可欠です。

この点を踏まえ、診療報酬改善
と患者負担引き下げを統一して要
求していくこと、診療報酬マイナ
ス改定が、保険で必要な医療の提
供をますます困難にすることを告
発する取り組みが、改めて求めら
れています。協会ではこれからも
診療報酬の適切な引き上げを求め
てまいります。また、患者窓口負
担の軽減などの社会保障の改善
で、将来不安のない豊かな日常生
活をつくりだす必要があります。

協会が取組んだ「診療報酬の引き
上げと患者窓口負担の軽減を求め
る」署名に多くのご賛同をいただ
き、有難うございました。今後と

も、協会が取組む署名にご協力
を宜しくお願い申し上げます。
最後に、支部活動は会員であ
れば、いつでも誰でも気軽にご
参加いただけます。今年もみな
さまのご意見をお聞きしながら
様々な企画を行います。学術研
究会、職員研修会はもちろん、
文化企画など、幅広いご要望を
お待ちしております。裏面に掲
載の「支部活動に関するアン
ケート」にご協力いただき、色々
なお知恵をお貸しくございます
よう、心よりお願い申しあげま
して、ご挨拶とさせていただきます。



【第36回支部総会】

高齢者の救急対応に

必要なこととは



12月2日に、加古川市内で第36回総会を開催し、16年度活動報告と17年度方針を確認した。加古川中央市民病院救急科主任部長の切田学先生を講師に招き、「加古川中央市民病院における高齢者救急医療の現状と東播磨の救急現場の現状と課題」をテーマに記念講演を行った。参加者からの感想を紹介する。

このたび、切田学先生の講演を拝聴させていただきました。

救急医療では最も大切なのは時間であり、そのため患者搬入後の時間短縮に全力を注入し、ドクターカーやドクターヘリで搬入までの時間をも短縮を図っている。また迅速な診療の下、全身の観察を行い、かつ全人的な医療を心がけていると話されていました。先

生の救急医療への真摯な取り組みと救命への情熱が伝わり、心より感動しました。

次に、高齢者の意識障害の原因は脳血管障害だけでなく、肺炎・迷走神経反射・脱水・低血糖もあると教えていただきました。今後は、意識障害時は脳疾患に限らず、教えていただいたことを考慮しながら、全身の観察を行い、原因を追究していきたいと思えます。

さらに、D N A R (Do Not Attempt Resuscitation) の解釈が職種や個人によって異なるので、施設内で話し合い、医療者間で統一しておくことが必要であると教えていただきました。医療者間で解釈の統一ができていないと、患

者や家族への説明や対応にズレが生じ、不安や不満につながります。当院でも検討の場を設けて、解釈と対応の統一ができるように努力していきたいと思えます。
2時間の講義で、数多くの学びをいただきました。本当にありがとうございました。

【加古郡・稲美中央病院 看護師山本 聡子】



会員・看護師・自治体関係者ら 51人が参加した

加古川・高砂支部会員各位

支部活動に関するアンケートご協力をお願い

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部
支部長 岡部 桂一郎

日頃より協会活動にご理解とご協力をたまわり感謝申し上げます。今後も会員ニーズに応えた支部活動を行うため、下記のアンケートにご協力いただければ幸いです。取り上げてほしいテーマ・講師、ご希望などをお聞かせください。

1. 学術研究会

例) 在宅医療、褥瘡治療、緩和療法、摂食・嚥下障害、呼吸器系疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、アレルギー、感染症、精神疾患、漢方、医科歯科連携研究会(糖尿病と歯周病など)など

ご希望のテーマ・講師・ご意見など

2. 医院経営などに関する企画

例) 医院のトラブル対策、雇用管理、継承、税理士との付き合い方、ライフプランセミナー、相続、エンディングノートの作り方、リーダー育成、アンガーマネジメント、会員懇談会など

ご希望のテーマ・ご意見など

3. スタッフ向け研修企画(医療安全管理研修会、接遇研修会、事務講習会など)

ご希望のテーマ・ご意見など

4. 文化・レクリエーション企画

例) バスツアー、体験企画(そば打ち・陶芸など)、ビール工場・酒造見学、話し方講座、など

ご希望の企画・ご意見など

5. 支部幹事会に参加してみたい → 右の□にチェックマークをつけてください □

FAX (078-393-1802) にてご返信ください。お問い合わせは担当事務局 沖野 (Tel 078-393-1805) まで
医療機関名 お名前